

## 輸血前後感染症の取り組み



医療法人仁慈会 安田病院

## はじめに

昨年、広島県輸血療法委員会より「輸血前後の感染症検査実施手順書」並びに、「輸血手帳ひろしま」が発行された。

当院では、8月より「輸血後感染症検査案内」「輸血手帳ひろしま」の配布・輸血後感染症検査の実施を開始した。これまでの取り組みを報告する。

## 安田病院の概要

住所：竹原市下野町3136

病床数：一般病棟113床 療養病棟80床

診療科：内科 外科 整形外科 リハビリテーション科

泌尿器科 耳鼻咽喉科 脳神経外科 婦人科

精神科 麻酔科 健康管理センター 人工腎センター

施設基準：DPC対象病院

入院患者平均年齢：75歳

電子カルテ：ソフトウェアサービス  
Newtons2



## 輸血手帳運用開始までの流れ

平成28年3月 輸血管理委員会にて「輸血後感染症検査案内」と「輸血手帳ひろしま」の運用方法の検討を看護部へ依頼



平成28年7月 輸血管理委員会にて運用方法を決定



平成28年8月 「輸血感染症検査案内」と「輸血手帳ひろしま」の配布、輸血後感染症検査の実施を開始

## 輸血前

主治医が輸血及び輸血前後感染症検査の説明と輸血同意書の取得を行う



輸血前感染症検査実施  
(HBs抗原、HBs抗体、IgG-HBc抗体  
HCV抗体、HIV抗体)



主治医が結果を告知

## 輸血後(臨床検査課)

電子カルテの「患者メモ」欄に輸血後感染症検査実施依頼文を記載



輸血後感染症検査案内と輸血手帳ひろしまの作成

業務時間内

夜間・休日

外来患者

入院患者

外来患者

輸血終了まで

退院前日まで

翌日以降

輸血後感染症検査案内と輸血手帳ひろしまを患者担当看護師へ渡す

## 輸血後(看護部)

臨床検査課から輸血後感染症検査案内と輸血手帳ひろしまを受け取る

入院患者

外来患者

患者名を確認後、**【患者ファイル】**に保管する

患者担当看護師が輸血直後に内容説明し渡す

退院時、患者担当看護師が内容説明し渡す

### ※【患者ファイル】

病棟において、入院患者の同意書などの各書類を保管するファイル

※ 患者本人への説明が困難な場合は、付き添いの方に説明する(家族、付き添いの施設職員など)

## 電子カルテ

電子カルテ画面のスクリーンショット。患者情報欄に「H29/3/12以降、輸血後感染症をお願いします。検査実施後、コメント削除してください。」という注釈が追加されている。

H29/3/12以降、輸血後感染症をお願いします。検査実施後、コメント削除してください。

## 輸血後感染症案内文

広島県輸血療法委員会発行の「輸血前後の感染症検査実施手順書」を基に作成

高齢者を考慮し、文字を大きくした！

輸血後の感染症検査案内文のサンプル。患者名「安田 太郎」、血液型「A(+)

## 輸血手帳



輸血手帳の記入例。血液型「A(+)

患者情報カードのサンプル。患者名「安田 太郎」、血液型「A(+)

